

9. 参考資料

9. 参考資料

9.1 参考文献

- 1) かつらぎ町：平成 20 年度かつらぎ町地域水道ビジョン及び水道施設耐震計画策定業務委託特記仕様書
- 2) 厚生労働省健康局水道課長：地域水道ビジョン作成について、健水発第 1017001 号、第 1017002 号、平成 17 年 10 月 17 日
- 3) 厚生労働省健康局水道課長：地域水道ビジョン作成の手引き、平成 17 年 10 月 17 日
- 4) 厚生労働省健康局水道課：事務連絡、「地域水道ビジョン」作成の参考資料
- 5) (社)全国上下水道コンサルタント協会：水道ビジョン基礎データ集
- 6) 厚生労働省健康局水道課：全国水道関係担当者会議資料、平成 17 年 3 月 2 日
- 7) (社)日本水道協会工務常設調査委員会：水道事業ガイドライン、平成 17 年 1 月 17 日制定
- 8) (社)日本水道協会：解説水道事業ガイドライン、平成 17 年 10 月 11 日
- 9) (社)日本水道協会：水道施設更新指針、平成 17 年 5 月
- 10) (社)日本水道協会：水道施設更新指針、平成 17 年 5 月
- 11) (社)日本水道協会：水道維持管理指針 1998、平成 16 年 9 月 15 日 5 版
- 12) (社)日本水道協会：平成 17 年度水道統計、施設・業務編、平成 19 年 3 月 31 日
- 13) (社)日本水道協会：水道料金表（平成 18 年 4 月 1 日現在）、平成 18 年 8 月 31 日
- 14) (財)水道技術研究センター：水道施設の機能診断の手引き、平成 17 年 4 月
- 15) (社)日本水道協会：水道施設耐震工法指針・解説 2009 年版、平成 21 年 7 月 1 日

9.2 用語集

1) 公営企業関連用語

【あ行】

営業収益	えいぎょうしゅうえき	主たる営業活動から生じる収益で、電力料金や水道料金等があります。
営業収支比率	えいぎょうしゅうしひりつ	営業収支比率(%) = (営業収益 - 受託工事収益) ÷ (営業費用 - 受託工事費用) × 100 営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示すものです。この比率が高いほど、営業利益率が良いことを表わし、これが100%未満であることは営業損失が生じていることを意味します。
営業外収益	えいぎょうがいしゅうえき	主たる営業活動以外の原因で生じる収益で、預金や貸付金に対する受取利息、営業活動に充てる他会計からの補助金、受託工事収益等があります。
営業費用	えいぎょうひよう	主たる営業活動から生じる費用で、人件費、物件費、減価償却費等があります。
営業外費用	えいぎょうがいひよう	主たる営業活動以外の原因で生じる費用で、企業債や借入金に対する支払利息や受託工事費等があります。

【か行】

借入資本金	かりいれしほんきん	資産を取得するために充てた企業債や他会計からの長期借入金があります。
企業債	きぎょうさい	地方公営企業の資産取得等の財源として起こされた地方債のことです。
経常収支(経常損益)	けいじょうしゅうし (けいじょうそんえき)	経常収益 (= 営業収益 + 営業外収益) - 経常費用 (= 営業費用 + 営業外費用)
経常収支比率	けいじょうしゅうしひりつ	経常収支比率(%) = (経常収益 ÷ 経常費用) × 100 経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すものです。この比率が高いほど、経常利益率が良いことを表わし、これが100%未満であることは経常損失が生じていることを意味しています。

決算規模(支出)	けっさんきぼ (ししゅつ)
	<p>当該年度の現金ベースでの支出額を表わします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 法適用企業＝総費用－減価償却費＋資本的支出 ・ 法非適用企業＝総費用＋資本的支出＋積立金＋繰上充用金
建設仮勘定	けんせつかりかんじょう
	<p>固定資産が建設によって取得される場合、その金額が大きく、かつ、長期間に渡る工事について、それに関連した工事費、人件費や物件費等の一般管理費、建設期間中に生じた支払利息等を整理するための勘定で、固定資産が竣工した時点で本勘定に振替するものです。</p>
減価償却 (費)	げんかしょうきやく (ひ)
	<p>固定資産の取得原価を利用する各年度の費用として割り当て、費用配分を行い、それによって投下された資本を回収する会計処理です。</p>
固定資産	こていしさん
	<p>長期間 (1年以上) にわたって利用または所有する資産で、土地、建物、機械装置等があります。</p>
固定負債	こていふさい
	<p>支払期限が1年以上の負債で、運転資金として借りた長期借入金、退職給与引当金や修繕準備引当金があります。</p>

【さ行】

財務収益 (費用)	ざいむしゅうえき (ひよう)
	<p>電気事業会計の場合、受取利息は財務収益で、支払利息は財務費用で整理されています。</p>
事業外収益 (費用)	じぎょうがいしゅうえき (ひよう)
	<p>電気事業会計の場合、主たる営業活動以外の原因で生じる収益 (費用) は、受取利息や支払利息を除き事業外収益 (費用) で整理されています。</p>
自己資本金	じこしほんきん
	<p>資産を取得するために一般会計から出資を受けた繰入資本金と、減債積立金を使って企業債の償還をした場合や建設改良積立金を使って建設改良工事を行った場合等利益剰余金から振り替わった組入資本金等があります。</p>

収益的収入	しゅうえきてきしゅうにゅう
	<p>料金収入等の営業収益、受取利息、補助金、受託工事収益等の営業外収益、固定資産売却益等の特別利益をいいます。</p> <p>その期の営業活動に伴う収益のことで、損益計算は、これに基づいて行われます。</p> <p>収益的収入：</p> <p>①サービス提供の対価としての料金収入を主体とする「営業収益」</p> <p>②受取利息・他会計補助金等の「営業外収益」</p>
収益的支出	しゅうえきてきししゅつ
	<p>人件費、物件費、減価償却費等の営業費用、支払利息や受託工事費等の営業外費用、固定資産売却損等の特別損失をいいます。</p> <p>その期の営業活動に伴う収益に対応する費用のことで、損益計算は、これに基づいて行われます。</p> <p>収益的支出：</p> <p>①サービスの提供に要する人件費・物件費等の「営業費用」</p> <p>②支払利息等の「営業外費用」</p> <p>③固定資産売却損・臨時損失・過年度損益修正損等の「特別損失」及び「予備費」</p>
資本剰余金	しほんじょうよきん
	<p>資産を取得するための財源とした補助金、工事負担金等があります。</p>
資本的収入	しほんてきしゅうにゅう
	<p>効果が次期以上に及び将来の収益であり、財源となる収入のことです。</p> <p>資本的収入の主なもの、企業債、固定資産売却代金（売却益は除く）、他会計からの出資金、長期借入金、建設改良事業の補助金、負担金、寄付金等収益に関係のない収入で現金を予定されるものをいいます。</p>
資本的支出	しほんてきししゅつ
	<p>効果が次期以上に及び将来の収益に対応する支出のことで、資産を取得するための支出です。</p> <p>資本的支出の主なもの、建設改良費、企業債償還金（元金）、他会計からの長期借入金償還金等、費用とは関係のない支出で、現金支出を必要とするもの等をいいます。</p>
純利益（純損失）	じゅんりえき（じゅんそんしゅつ）
	<p>営業収益から営業費用を差し引いたものが営業利益または営業損失、これに営業外収益を加えて営業外費用を差し引いたものが経常利益または経常損失、更に、その経常利益（経常損失）に特別利益を加えて特別損失を差し引いたものが純利益または純損失となります。</p>

総収益	そうしゅうえき
	営業収益、営業外収益、特別利益を合計したものです。
総収支(純利益)	そうしゅうし(じゅんりえき)
	総収益(=営業収益+営業外収益+特別利益) - 総費用(=営業費用+営業外費用+特別損失)
総費用	そうひよう
	営業費用、営業外費用、特別損失を合計したものです。
損益計算書	そんえきけいさんしょ
	一会計年度の純利益(純損失)とその発生原因を明らかにするため、その期間に発生した収益とそれに対応する費用を一つの表にしたものです。

【た行】

貸借対照表	たいしゃくたいしょうひよう
	一定時点(年度末)における財政状況(資産・負債・資本)を明らかにするための表です。
地方公営企業	ちほうこうえいきぎょう
	地方公共団体が住民の福祉を増進するために経営する企業。地公企法では、水道事業(簡易水道事業を除きます)、工業用水道事業、軌道事業、自動車運送事業、鉄道事業、電気事業、ガス事業の7事業を地方公営企業とし、同法の全部適用事業(法定事業)としています。なお、水道事業には水道用水供給事業を含み、簡易水道事業及び下水道事業は除かれます。地方公営企業は、住民の福祉の増進(公共性)と独立採算の原則のもと経済性の発揮(経済性)を経営の基本原則としています。
特別利益(損失)	とくべつりえき(そんしつ)
	その発生が経常的でなく、また、性格的にも臨時的な利益または損失で、固定資産売却益(損)等があります。
独立採算性	どくりつさいさんせい
	地方公営企業の活動は、財貨またはサービスを提供し、その対価として料金を徴収します。それにより、また新たな財貨またはサービスを再生産し、企業活動を継続していきます。この意味において、地方公営企業は独立採算の原則に支配されるものです。 しかしながら、地方公営企業の独立採算制は、企業活動に要するすべての費用について独立採算及び受益者負担を貫くものではなく、地方公共団体の営む事業として、一般行政事務的な活動を行うような場合については、一般会計において負担すべきものとし、それ以外について独立採算制の下に処理するものです。

【な行】

内部留保資金	ないぶりゆうほしきん
	減価償却費等の現金の支出を伴わない経費により蓄積された損益勘定留保資金や積立金等の利益剰余金で企業内部に留保されている資金のことをいいます。

【は行】

不良債務比率	ふりようさいむひりつ
	<p>不良債務比率(%) = 不良債務 ÷ (営業収益 - 受託工事収益) × 100</p> <p>不良債務が年間営業収益の何%になっているかを示すものであり、収益的収支における赤字だけでなく、資本的収支の赤字まで含めて全体でどのくらいの資金不足の状況にあるかを表わします。</p>

不良債務	ふりようさいむ
	<p>不良債務 = 流動負債 - (流動資産 - 翌年度に繰り越される支出の財源充当額) > 0</p> <p>流動負債の額が流動資産の額を上回る場合、その上回る額をいいます。これが発生していることは、資金不足が生じていることを意味します。</p> <p>不良債務をもって赤字の状況判断の基準としているのは、損益収支において黒字であっても、資本収支において資金不足を生じる場合がありますが、不良債務によれば損益・資本両収支の資金繰りの状況を把握できます。</p>

法適用企業	ほうてきようきぎょう
	<p>地方公営企業法の適用を受ける企業のことです。法定事業(当然適用される事業)：水道事業、工業用水道、軌道事業、自動車運送事業、鉄道事業、電気事業、ガス事業の7事業です。</p> <p>財務規定等のみ当然適用：病院事業です。</p> <p>その他、条例により法の全規定または財務規定等を適用できる事業もあります。(任意適用)。この場合、原則として、経常的経費の70~80%程度を料金等の経常的収入で賄うことのできる事業です。当然、経理は、企業会計(複式簿記)で行います。</p>

法非適用企業	ほうひてきようきぎょう
	<p>地方公営企業を適用せず、地方自治法、地方財政法等の適用を受ける事業です。</p> <p>公営企業のうち、法定事業、病院事業及び任意に法を適用した事業を除いた事業をいいます。例えば、下水道事業、簡易水道事業、宅地造成事業等が該当します。この場合、経理は、官公庁会計(単式簿記)で行います。</p>

補助金	ほじょきん
	<p>国庫補助金と一般会計補助金がありますが、営業活動に充てるための補助金は営業外収益で、資産を取得するために充てた補助金は資本剰余金に含まれます。</p>

補てん財源	ほてんざいげん
	資本的収支予算において収入額が支出額に対して不足することとなった場合の補てんに用いられる財源で、損益勘定留保資金、積立金、消費税及び地方消費税資本的収支調整額等があります。

【ま行】

未成宅地	みせいたくち
	宅地造成事業会計の場合、土地造成期間中に用いる勘定で、他の会計の建設仮勘定に相当するものです。
無形固定資産	むけいこていしきん
	電気事業会計では発電を行うための施設利用権、工業用水道事業会計や水道事業会計では水源のための水利権、その他には、電話加入権等があります。

【ら行】

利益剰余金	りえきじょうよきん
	過去の損益取引から生じた利益を積み立てたもので、地方公営企業法に基づいて積み立てる企業債の償還財源としての減債積立金、任意で積み立てる建設改良工事の財源としての建設（開発）改良積立金、地域振興を目的とした事業の財源としての地域振興積立金等があります。なお、当年度未処分利益剰余金については、議会の議決を経て処分が決まります。
流動資産	りゅうどうしきん
	資産のうち、短期間（1年未満）に渡って利用または所有する資産で、現金預金や未収金等があります。
流動負債	りゅうどうふさい
	支払期限が1年未満の負債で、未払金や預り金等があります。
累積欠損金	るいせきけつそんきん
	<p>今までの各年度で生じた欠損金の累積額のことです。</p> <p>営業活動によって欠損を生じた場合に、繰越利益剰余金、利益積立金、資本剰余金等により補てんできなかった各事業年度の損失（赤字）額が累積されたものをいいます。</p> <p>このうち、減価償却費は現金支出を伴わないため、これを原因とする損失（赤字）額により生じた累積欠損金が事業全体の資金不足に直接つながるものではありませんが、より一層の収益性の向上を図ることが求められます。</p>

累積欠損金比率

るいせきけつそんきんひりつ

$$\text{累積欠損金比率 (\%)} = \text{累積欠損金} \div (\text{営業収益} - \text{受託工事収益}) \times 100$$

累積欠損金が年間営業収益の何%になっているかを示すものであり、企業経営の悪化の度合いを表わします。

この比率が高率なほど企業の損益収支の内容が悪化していることを示すものであり、早急に経営改善を図る必要があります。

2) 水道用語

【あ行】

アオコ	あおこ
	湖沼等に発生する富栄養化の指標プランクトンです。湖等の水面に青い粉をまいたように増殖して一面に水の華を形成します。主に浮遊性藍藻類によって起こります。しばしば広範囲に表面を覆い、水面が縞模様になったり、厚いマット状に集積したりする場合があります。著しく増殖すると独特の臭気を感じられます。
赤水	あかみず
	鉄管の内面腐食等によって溶け出した鉄が、酸化されて鉄錆となり、それが給水管等から流出すると水が赤褐色や黄褐色を帯びます。これを赤水といい、金気臭も生じます。
浅井戸	あさいど
	第一帯水層の自由地下水または伏流水を取水する比較的浅い井戸をいいます。井戸の深さは、地層により異なりますが、およそ7m～10mです。
陰イオン界面活性剤	いんいおんかいめんかっせいざい
	「石鹼（脂肪酸のアルカリ金属塩）」及び「合成洗剤（界面活性剤）」の主成分で、水に溶けると陰イオンになるものをいいます。一部の合成洗剤は長期間分解されず、河川の発泡を引き起こす。家庭の排水が主な原因です。
エアレーション	えあれーしょん
	曝気（ばっき）のこと。空気（気体）と水（液体）とを接触させ、各相中における物質の濃度分圧が等しくなるようにし、各相間で物質を移動させること。方式には、水中への空気の吹き込み、水の攪拌（かくはん）、水の空中散布等があります。
塩素処理	えんそしより
	次亜塩素酸ナトリウム等の塩素剤を使用した消毒処理のことで、塩素の強い殺菌作用によって、水中の病原菌等を殺し、飲料水としての安全性を確保します。

【か行】

かび臭	かびしゅう
	水につく微生物起因の異臭の一つ。原因は主に藍藻類や放線菌が産生する発臭物質、ジェオスミン、2-ミチルイソボルネオール等であり、0.01μg/リットル以下の濃度でも感じられます。土臭や墨汁臭として感じられることもあります。

カルキ臭	かるきしゅう	水道水中の残留塩素に起因する臭気のことをいう。カルキとは石灰を意味するオランダ語の Kalk が語源。
簡易専用水道	かんいせんようすいどう	水道事業の用に供する水道及び専用水道以外の水道であって、水道事業の用に供する水道から供給を受ける水のみを水源とするものをいいます。ただし、水道事業の用に供する水道から水の供給を受けるために設けられた水槽の有効容量の合計が 10 立方メートル (m ³) 以下のものは除かれます。簡易専用水道の設置者は、その水道を管理し、定期的に検査を受けなければなりません。
給水管	きゅうすいかん	給水装置及び給水装置より下流の受水槽以下の給水設備を含めた水道用の管のことをいう。水道事業者の管理に属する配水管と区別した呼び名です。
給水義務	きゅうすいぎむ	水道事業者は、給水区域内の需要者から給水契約の申込を受けたときは、正当な理由がなければこれを拒んではいけません。また、当該水道により給水を受けるものに対し、正当な理由によりやむを得ない場合を除き、常時水を供給しなければならないとされています。これは、水道事業が地域的独占事業として認可されていることから、水需要者の保護を目的に水道事業者の義務として規定されているものです。
給水原価	きゅうすいげんか	水 1 m ³ を給水するためにいくら費用がかかったかを示します。数値は小さいほど良いことになります。
給水人口	きゅうすいじんこう	給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口をいいます。給水区域外からの通勤者や観光客は給水人口に含まれません。水道法に規定する給水人口は、事業計画において定める給水人口（計画給水人口）をいいます。
給水制限	きゅうすいせいげん	給水を制限することをいいます。水道は日常生活に直結し欠くことのできないものですので、給水の制限は、水源状況を考慮しながら段階的に行い、緊急事態等やむを得ないとき以外は、急激な強化は避けなければならないことになっています。

給水装置	きゅうすいそうち
	水道法では「需要者に水を供給するために水道事業者の施設した配水管から分岐して設けられた給水管及びこれに直結する給水用具をいう」と定義されています。直結する給水用具とは、給水管に容易に取りはずしのできない構造として接続され、有圧のまま給水できる給水栓等の器具類をいいます。
急速ろ過方式	きゅうそくろかほうしき
	原水を薬品により凝集沈澱処理して濁質をできるだけ沈殿池で除去したのち、急速ろ過池で1日120～150mのろ過速度でろ過し、さらに塩素消毒を行う浄水方式をいいます。
供給単価	きょうきゅうたんか
	水1m ³ 当たり平均いくらで売ったかを示します。給水原価を上回る必要があります。
凝集沈殿	ぎょうしゅうちんでん
	水中に懸濁（微細な粒子が水の中に分散している状態）している浮遊物質を、凝集剤等を用いて凝集させ沈殿分離することをいいます。
空気弁	くうきべん
	管路内に混入あるいは水中から遊離した空気を管外に排出するバルブ。現在の空気弁は、工事のときに排水しやすいよう吸気機能も有しています。
クリプトスポリジウム	くりぷとすぼりじうむ
	原生動物の原虫類に属する水系病原性生物です。トキソプラズマとごく近縁関係にある原虫で、その形態はよく似ていますが、オーシスト（嚢胞体、のうほうたい）は球形で3～4μmと小さく、オーシストの中に4個のスποロゾイドがあります。その原虫に感染した症状は、典型的な水様性の下痢であり、発汗、腹痛、痙攣様（けいれんよう）腹痛があります。
減圧槽	げんあつそう
	標高の高い位置にある配水池から低い地域に給水する場合、水圧が非常に高くなってしまい不都合が生じるため、その水圧調整を行う施設です。
減圧弁	げんあつべん
	低圧側の障害発生防止のために、バネ等を用いて二次側の水圧を一次側の水圧より低い一定圧力に保つバルブ。圧力自動調整弁（オート弁）ともいいます。
原水	げんすい
	浄水処理する前の水。水道原水には大別して地表水と地下水があり、地表水には河川水、湖沼水、貯水池水が、地下水には伏流水、井戸水等があります。

硬水	こうすい
	<p>明確な定義はありませんが、カルシウム塩及びマグネシウム塩を比較的多く含み、石けんの泡立ちが悪い天然水を硬水といい、それらの塩類の含有量の少ない水を軟水といいます。</p>
硬度	こうど
	<p>硬度とは、カルシウム、マグネシウム等の量を表わしたもので、硬度は水の味に影響を与えます。硬度の高い水は口に残るような味がし、硬度の低すぎる水は淡白でコクのない味がします。おいしい水の条件としては、硬度成分が適度（10～100mg/L、中でも 50 mg/L 前後が多くの人に好まれると言われていす。）に含まれている必要があります。</p>
高度浄水処理	こうじょうすいしより
	<p>通常の浄水処理では十分に対応できない物質等の処理を目的として、通常の浄水処理に追加して導入する処理をいいます。代表的なものとしては、オゾン処理、活性炭処理等があります。</p>
【さ行】	
残留塩素	ざんりゅうえんそ
	<p>浄水場では、家庭の蛇口まで消毒効果を維持するために塩素を注入しています。一部は蛇口に届く前に分解しますが、分解せず水中に残留している塩素のことを残留塩素と呼びます。消毒剤としての塩素は、消毒効果が高く確実であること、持続性があること、残留量の測定が容易で維持管理が容易であること等の優れた点があります。</p>
色度	しきど
	<p>色度とは、水中に含まれる溶解性物質及びコロイド性物質が呈する薄黄色または黄褐色の程度を数値で表わしたものです。また、水質基準値（5度）は、肉眼ではほとんど無色と認める限界、白い浴槽で感知できる境界レベルです。</p>
仕切弁	しきりべん
	<p>管路内の水の流れを制御する制水弁の一種です。弁体が上下あるいは左右に動き、水を垂直に遮断して止水する構造のもの。</p>
水道	すいどう
	<p>導管及びその他の工作物により、水を人の飲用に適する水として供給する施設の総体をいいます。ただし、臨時に施設されたものを除きます。工業用水道や下水道と区別し、上水道といわれることがあります。</p>

水道事業	すいどうじぎょう
	<p>一般の需要に応じて、計画給水人口が100人を超える水道により水を供給する事業をいいます。計画給水人口が5,000人以下である水道により水を供給する規模の小さい水道事業は、簡易水道事業として特例が設けられています。計画給水人口が5,000人を超える水道によるものは、慣用的に上水道事業と呼ばれています。</p>
総トリハロメタン	そうとりはろめたん
	<p>浄水処理の過程において、原水中の有機物と消毒のために注入している塩素が反応して生じる消毒副生成物で、健康に影響を及ぼします。水道水中のトリハロメタンには、「クロロホルム」「ブロモジクロロメタン」「ジブロモクロロメタン」及び「ブロモホルム」があり、それぞれの濃度の総和で表わします。</p>

【た行】

帯水層	たいすいそう
	<p>地下水によって飽和されている透水層のことで、地表に近い順に第一帯水層、第二帯水層と呼びます。このうち上下を不透水層で挟まれた帯水層を被圧帯水層といいます。</p>
濁度	だくど
	<p>濁度とは、水の濁りを数値で表わしたもので、土壌その他浮遊物質の混入、溶存物質の化学的変化等により変化します。</p>
着水井	ちやくすいせい
	<p>導水施設から導入される原水の水位の動揺を安定させ、原水量を測定し、その量を調整するための施設。</p>

【な行】

農薬	のうやく
	<p>農作物、樹木、農林産物等に対して害を及ぼす病虫害を防除する薬剤です。これらは、使用目的により殺菌剤・殺虫剤・除草剤・殺ダニ剤・殺線虫剤・殺鼠剤（さっそうざい）・植物成長調節剤・忌避剤（きひざい）・誘引剤等に分類されます。また、健康に対しての影響は、軽症の場合「頭痛」「めまい」「はきけ」等ですが、重症となると「けいれん」「しびれ」「呼吸障害」等で、「死」に至ることもあります。</p>

【は行】

配水池	はいすいち
	浄水場から送り出された水を一時的に貯めておく施設のことで、ほとんどが標高の高い場所にあり、自然落差を利用して、家庭に給水しています。
砒素	ひそ
	金属と非金属との中間の性質を持ち、半導体や顔料、農薬、殺鼠剤、防腐剤等の原料になります。 砒酸、亜砒酸等の化合物には毒性がありますが、海産物等に含まれる有機態には、毒性はありません。工場、鉱山の排水や温泉等から混入します。
深井戸	ふかいど
	被圧帯水層から取水する井戸のことで、深さは30m以上のものが多く600m以上に及ぶものもあります。
フロック形成池	ふるつくけいせいち
	凝集した微少フロック（凝集体）を沈降しやすいフロックに形成するための設備です。
P C配水池	びーしーはいすいち
	プレストレストコンクリート製の円形または矩形の配水池。
p H値	ぴーえいちち
	水素イオン指数の事で、溶液の酸性・アルカリ性の強さを簡単な指数（水素イオン濃度の逆数の常用対数）で表わしたもの。 中性はpH7で、これより値が大きいとアルカリ性であり、小さいと酸性である。また、このpH値は汚染等による水質変化の指標や水処理の薬品注入量の判断等に使われている。

【ま行】

マンガン	まんがん
	元素記号はMn。生体必須元素の1つで、欠乏すると成長の鈍化・貧血・生殖障害等がみられます。 水道水にマンガンイオンが含まれますと、徐々に酸化されて二酸化マンガンとなり配水管の内壁に付着蓄積することがあります。それが管内の流速変化により剥がれ流出すると、「着色障害（黒い水）」が起こります。
無効水量	むこうすいりょう
	使用上無効と見られる水量のことで、配水本支管、水道メータより上流部での給水管からの漏水量、調定減額水量、他に起因する水道施設の損傷等によって無効となった水量及び不明水量をいいます。

無収水量	むしゅうすいりょう
	給水量のうち料金徴収の対象とならなかった水量。 事業用水量、水道メータ不感水量、その他、公園用水、公衆便所用水、消防用水等のうち料金その他の収入がまったくない水量をいいます。有効無収水量ともいいます。

【や行】

有機物（過マンガン酸カリウム消費量）	ゆうきぶつ（かまanganさんかりうむしゅうひりょう）
	被酸化性の物質である、雑排水・腐敗物質・肥料等のこと。これらの物質と反応し、消費される過マンガン酸カリウムの量（mg/L）で表わされます。水質汚染を判断するうえでの、重要な指標。

有効水量	ゆうこうすいりょう
	使用上有効と認められる水量で、メータで計量された水量または使用者に到達したものと認められる水量。

有効率	ゆうこうりつ
	有効水量を配水量で除したものをいう。

有収水量	ゆうしゅうすいりょう
	料金徴収の対象となった水量。

有収率	ゆうしゅうりつ
	有収水量を配水量で除したものをいう。

【ら行】

漏水調査	ろうすいちょうさ
	水道管からの事故の防止、水道水の無駄をなくすため、早期のうちに漏水を発見する調査業務。